

報道関係各位

2015年11月25日

第6回国際地震地盤会議でJHSが論文を発表 ～「SDS®試験」の地盤調査法としての国際的な認知度が高まる～

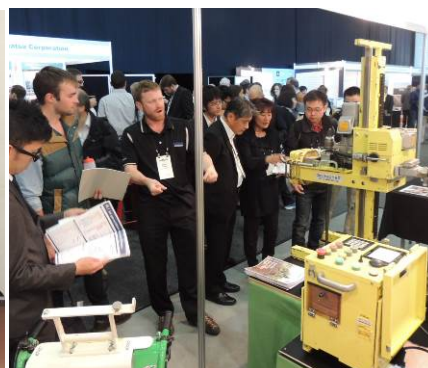
戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤 武司）は、2015年11月1日から4日までニュージーランド・クライストチャーチで開催された6th International Conference on Earthquake Geotechnical Engineering（以下、第6回国際地震地盤会議）に参加し、当社が実施している次世代の地盤調査試験法「スクレイドライバー サウンディング試験（SDS®試験）」に関する論文を発表しました。



第6回国際地震地盤会議の様子



発表を行う当社社員



SDS試験調査機械を展示したブース

国際地震地盤会議の開催地であるニュージーランドは、日本と同じく地震や液状化被害が多い国です。4年に1回開催される国際地震地盤会議には、世界の研究者が数多く出席し、研究成果の報告や情報交換などを行っています。今回の会議には世界から約880本の論文の応募があり、約3割が採択され、各分野における研究発表が行われました。

第6回国際地震地盤会議で当社は、論文「Evaluation of Soil Liquefaction Potential by Screw Driving Sounding Test in Residential Areas（SDSによる住宅地の液状化可能性の評価について）」に関して発表を行ったほか、当社と2013年からニュージーランドにおけるSDS試験の適用について共同研究を実施しているオークランド大学が論文「Assessment of in-situ liquefaction resistance of soils using Screw Driving Sounding」を発表し、「SDS®試験」が地盤調査法として有効であるとの認知が国際的に高まりました。

また、当社が会場に設置した展示ブースには各国の著名な研究者らが訪れ、SDS試験の調査機械を見学して熱心に質問する姿が見られました。

ジャパンホームシールドは今後も、優れた地盤調査技術や研究を通じて、世界中の人々の豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03 - 5624 - 1545

※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門誌記者会にお届けし、ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）ならびにLIXIL（URL: <http://www.lixil.co.jp/>）のホームページでも発表しています。

<ジャパンホームシールドはLIXILグループの一員です>